



よろしくね「ノゾミ」です

タンチョウの命名式

6月2日にきびじつるの里でふ化したタンチョウの子どもの命名式が8月5日、同所で行われ、「ノゾミ」と名付けられました。

命名したのは、山本羽純さん（山手小2年）、岸野くみさん（総社中央小3年）、劔持奈津子さん（山手小4年）、河原昂平さん（総社西小5年）、西江葵美さん（総社北小6年）の5人。名前は、吉備タンチョウの会と市が一般公募。応募のあった835点のなかから選考委員会で審査し決定しました。



中央のタンチョウが「ノゾミ」（写真上）。命名者には賞状と記念品が贈られた（写真下）

無理なく楽しみながら取り組む

地域の活性化シンポジウム

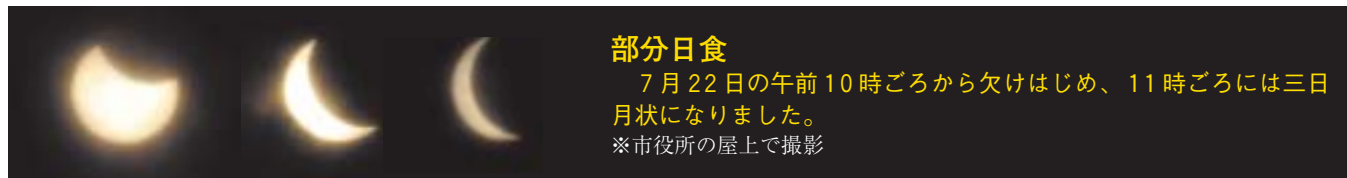
地域が元気になるためにはと、「地域の活性化シンポジウム」が7月11日、市総合福祉センターで開かれ、婦人会活動をする人など約100人が熱心に聴講しました。

基調講演の後、パネルディスカッションで意見交換。コーディネーターは、「地域力向上のためには、無理なく楽しみながら取り組むこと



パネルディスカッションの様子

が一番。『よそ者』『土地の者』『若者』の3つの視点も取り入れ、地域づくりをする仕掛けを考えてみよう」とまとめました。



部分日食

7月22日の午前10時ごろから欠けはじめ、11時ごろには三日月状になりました。
※市役所の屋上で撮影

ミニフォト

川の水のきれいさを判定



水生生物の数を数える

川の水のきれいさを調べる水辺の教室が7月25日、池田小学校で開かれ、親子連れ約30人が判定作業を体験。参加者は、楨谷川で採取した石と水のなかから水生生物を種類ごとに分けて数を数えました。判定の結果きれいな水でした。

ゴール目指してボールを追う



ヘディングシュート！

三渡海サッカー大会が7月19日ほか、総社北公園陸上競技場など市内7会場で開かれ、総社をはじめ、小・中学生チーム約180チームが参加。速いパス回しや豪快なシュートなどが随所で見られる熱戦を展開していました。

林間でのまつりを楽しむ



パン、焼けたかな？

高間やまびこまつりが7月19日、高間キャンプ場で開かれました。地元の人たちが協力してまつりを準備。約300人の家族連れが、パンやアユの塩焼き、流しそうめんなどの食と、竹馬や水鉄砲づくりなどを楽しみました。



1



2



3



4



5



6



7



8

①雪舟フェスタの総おどり [8/1] ②阿曾の火まつり [7/31] ③総社宮の輪くぐり [7/25] ④雪舟フェスタの花火 [8/1] ⑤義民祭の義民おどり [7/18] ⑥総社宮夏祭り [7/25] ⑦雪舟フェスタのえとこ囃しコンテスト [8/1] ⑧雪舟フェスタの総おどり [8/1]



今年も夏を彩る

各地の夏祭り

総社市民まつり「雪舟フェスタ」をはじめ、多くの夏祭りが市内で開催され、踊りや花火を見たり、夜店を巡ったりし、皆さん夏の一夜を楽しんでいました。

絵本や紙芝居などを楽しむ



興味津々で話を聞く子どもたち

読み聞かせボランティアのママブックは7月24日、総社南幼稚園で夏休みスペシャルを開催しました。同園の園児ら約100人は、大型紙芝居「狸の茶釜」やエプロンシアター、絵本の読み聞かせなどを楽しみました。

ベストを尽くして泳ぐ



力泳に大きな声援

学童水泳記録会が市スポーツセンターのプールで7月29日に行われました。市内の小学生432人が参加。大きな声援が送られるなか、子どもたちはベストを尽くして泳いでいました。6個の大会新記録が生まれました。

総社の伝統料理を伝えたい



あゆめしを調理中

「伝えたいそうじの味料理教室」が7月25日、総社市保健センターで開かれ、主婦ら約30人が参加。市栄養改善協議会が総社の伝統料理を伝えようと、栄養委員が作り方やメニューと風習の関係などをていねいに説明していました。